



会員番号 106 **高取 和郎** (たかとり かずろう)

- | | |
|------------|--|
| ① 2007年12月 | ⑤ 東京都立病院 薬剤科長 |
| ② 1935年 | ⑥ 栄冠陰に涙あり |
| ③ 八王子市 | ⑦ 陶芸、写真、洋ラン栽培、スキー、カラオケ |
| ④ 八王子市平岡町 | ⑧ 185、186 平城遷都1300祭と正倉院展を見て
191 茶碗を作る
201 お茶の会・飯田の桜を見る旅
207 楽茶碗を作る
226 お茶の会・熱海の花火とMOA美術館 |

作 陶

陶芸を始めて今年の春で20年になります。特に多く作陶しているのが茶碗で、あわせて水差し、茶入れ等を作っています。茶道具を作るにはお茶を知らなくてはと、お茶の会に入れていただきました。作陶していて今までに、これは自分が思ったように出来た作品と言えるのは10個のうち1つ有るかでしょう。多分、思ったものが出来る様ですと飽きて陶芸を辞めていたでしょう。特に、湯呑茶碗は私としては1番苦手なものです。陶芸を始めて初期に作るのが湯呑ですが、今でもまともな作品が出来ません。1番単純に作れると思っていたものが1番難しい物になっています。

何事も物を作るには簡単に作れるものは無いようで、そのため努力しているのですが、終わりは見えません。これから、出来上がった作品が考えていたものと違うと言いながら、相変わらず作陶に励んでいる事でしょう。



会員番号 107 **竹内 賢治** (たけうち けんじ)

- | | |
|------------|-------------------------|
| ① 2007年12月 | ⑤ 伊藤忠金沢支店長、(株)ハチバン社長 |
| ② 1932年 | ⑥ 人は石垣 |
| ③ 福井県 | ⑦ 美術鑑賞 |
| ④ 八王子市めじろ台 | ⑧ 175、182、183、192 私の仕事史 |

地震で「めまい」が治るの？

2011年3月11日午後2時46分、JR 八王子駅南口地下駐輪場ドーム横を歩いていると、突然大きなめまいに襲われ、横のドームにしがみつき、目をつむり今日のめまいは大きいな・永いな一と思いながら収まるのを待ち続け、ようやく収まりバス停留場、めじろ台行バスに乗り込んだ処、バスの中は大騒ぎです、隣の人に何かあったのですかと聞いたら「あなたは何処にいたのですか」と聞き返され、始めて大きな地震であったことを知りました。1年前の3月8日主治医からの紹介状を持ち大学医療センター耳鼻科の検査で「めまい」の原因は判明しませんでした。その後「めまい専門」の3医院で治療を受けましたが治り切りません。八王子駅のホームで柱にしがみつき数本の電車を見送ることも、道路・エレベーター前で倒れこむことも数々ありましたが、地震のショックでリセットされめまいが治ったのかその後「めまい」が起きておりません。不思議なことがあるものですね。



会員番号 109 久野 久夫 (くの ひさお)

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| ① 2008年6月 | ⑤ 八王子消化器病院事務長、現理事 |
| ② 1943年 | ⑥ 願えば叶う |
| ③ 神奈川県 | ⑦ 骨董収集、古典落語 |
| ④ 大和市南林間 | ⑧ 205 インフルエンザ考
232 刺身は食いたし |

やくそく

昨秋に長年、連れ添った伴侶（柴犬）が亡くなった。享年16歳。1歳の年に私のもとに嫁いで（？）以来、15年間に亘り、ひたすら私の健康管理のためにと朝夕（厳密に言うとは夜明け、深夜）の散歩に付合ってくれた。また、毎日の晩酌の良き相手でもあった。酌こそしないものの静かに私の傍らに侍り、少々の肴に在り付きながら飲み過ぎかなと思われる時は必ず“貴方、もうその位にしたらいかが・・・”というような顔付きをしてブレーキをかけてくれた。まさに忠犬（良妻）の鑑みであった。

そんなことから彼女の長年の労苦に報いるべく2つの約束をした。1つ目は、散歩を続けること、2つ目は酒は程々にすること。特に酒は、せめてもの供養ということもあり、49日が終るまでは一滴たりとも飲まないとした。大学の後輩がその1ヶ月前に矢張り愛犬を亡くしていたこともあり、その旨を告げた処、彼曰く。“先輩それも結構ですが、私は供養のために毎晩酒を飲んで愛犬を偲んでいますよ”と。いずれも愛犬家ならではのことであるが、彼の言うような考え方も有るのか、自分もそうしてみるかと迷いつつも49日乗り切った。今は日々の晩酌を楽しんでいる。勿論、やくそくの量で。



会員番号 110 萩島 靖久 (おぎしま やすひさ)

- | | |
|-----------|--|
| ① 2008年8月 | ⑤ 戸吹清掃事務所長、夕やけ小やけふれあいの里園長 |
| ② 1941年 | ⑥ 根性 |
| ③ 八王子市 | ⑦ 庭いじり、麻雀 |
| ④ 八王子市宮下町 | ⑧ 196 「庭木」手入れの秘訣
217 時の流れ
231 「投票立会人」という仕事 |

彼岸花

彼岸花の種類は日本では、十余種類があるが、此所では、この中の秋の彼岸頃各地で、田のあぜ、土手などに、地下の球根から伸びた茎の先に赤色の花が（まれに白いものもある）鮮やかに咲く彼岸花について、一言。

別名曼珠沙華という。地方によっては死人花、キツネ花、幽霊花等とも言われている。子供のころ、歯っかけばばあと言われていた。この花がなぜ庭に植えられていないのか、若年寄に聞いたら、あの花は、お墓や、田のあぜに植えるものだ。また、彼岸花は有害であり、庭には植えない。特に球根は、猛毒を持っているので。お墓に植えたのは、死人を土葬していたので、狼や犬に墓を掘荒らされないため。田のあぜに植えたのはモグラや野ねずみにあぜ道に穴を空けられて、折角田に張った水が漏れるのを防ぐためとのこと。私は数年前から、廻りの田畑の開発により彼岸花がなくなっていくのはあまりにも寂しいので、我が家の庭に1500株ほど植えている。そのためか最近庭からモグラがいなくなった。秋の彼岸には、あちこちの植木の下は、鮮やかな赤色の彼岸花が鮮やかに咲いている。



会員番号 112 熊田 真瑜美 (くまだ まゆみ)

- | | |
|------------|------------------|
| ① 2008年11月 | ⑤ (有)武蔵野音楽センター代表 |
| ② 1941年 | ⑥ 死にざまが生きざま |
| ③ 神奈川県 | ⑦ 読書、寺院めぐり |
| ④ 国立市富士見台 | ⑧ 204 義母への老老介護 |

人には優しくそして笑顔でつつんで

その僧侶の笑顔に会えたのは荒行堂入行の前日お堂の前で、私の鬼子母神様をお預けに行った時だった。顔は山賊のようなのに表情と目は仏様の笑顔のように優しく私を包んで下さった。この僧侶とは毎年、荒行堂面会開始の日に数人の僧侶と共に食事をする間柄なのだが、顔に似合わず静かな優しいたたずまいの方です。

荒行堂成満会の2月10日の朝は、時に開く瑞門の前に5時半に着き、写真を撮る場所を確保した。百日間の荒行を修め娑婆世界へ戻られた姿を、ご自坊での帰山式に本堂内にその姿を展示する写真で、広島からは御迎えに来られない檀家さん、信者さんに見ていただく資料なのです。修行の終わりを告げる150余人の行列の中で、「私も撮って・・・」という表情の仏様に見える笑顔があった。人に優しく、人への笑顔は仏教の根本的な教えとこの僧侶のいつも人を包み込むような優しい笑顔が私に教えてくださっているのです。

心に悩みを抱える者のよりどころになる優しい笑顔を、これからの残り時間に忘れないようにと心がけている私です。



会員番号 113 岩島 寛 (いわしま ひろし)

- | | |
|-----------|--|
| ① 2009年4月 | ⑤ 通産省工業技術院、三菱レイヨン(株)、子会社経営、ケアメディックス(株)経営(介護・福祉用具の開発・販売) |
| ② 1935年 | ⑥ 与えられた環境で最善を尽くす |
| ③ 福井県 | ⑦ 水泳、山登り、コーラス、読書 |
| ④ 八王子市緑町 | ⑧ 187 子供たちに夢を
190 善意は国境を越える
216 日本人の起源
229 飼い猫に教えられたと、旅の思い出 |

河鹿の群声

今から62年前、1953(昭和28)年の夏、僕が高校3年、大学受験のため深夜1時2時頃まで机にかじり付いていた頃のことです。疲れて一休みしていると、ふと、しじまの中に河鹿の声が聞こえてくるのです。コロコロと実に軽やかで美しい声が、幾百幾千匹であろうか一斉に鳴きだし、また、一斉に鳴き止むのです。わが家は当時の地名、西多摩郡西秋留町(現在、あきる野市)の秋川がすぐそばに見下ろせる丘の上にあります。一斉に鳴く河鹿の声が勉強の疲れを癒してくれました。川辺に沿った小川には水車が廻り、池には白鳥や白鷺がいました。時代が過ぎゆき、今は近くにサマーランドが出来、圏央道が通り、秋川は護岸工事が進んで、景色はすっかり様変わりしました。河鹿の群声は上流の桧原村の辺りまで遡らなければもう聞くことは出来ないでしょう。

有為転変、あの情景はあの頃そこに住んでいた人々の記憶の中に静かに蘇ってくるだけあります。



会員番号 114 **飯田 富美子** (いいだ ふみこ)

- | | |
|-----------|---|
| ① 2009年7月 | ⑤ (株)環境管理センター取締役・監査役 |
| ② 1939年 | ⑥ 日に新た又日に新た |
| ③ 山梨県 | ⑦ 旅行、絵画、書、サッカー観戦 |
| ④ 八王子市横川町 | ⑧ 188 クラーク博士から石橋湛山へ
226 東京タワーと私
236 恩師. 素晴らしきかな |

すてきに輝いて素敵に生きる

1971年に“日本の公害を減らすために新たな会社を興す”という夢を掲げ、マンションの一室で、たった3人でECC(環境管理センター)を旗揚げしました。当時は水質分析をする独立した会社はなく、自治体も企業も公害発生源の大手企業の研究室に検体を持ち込んでいました。創立以来「時代の先端をいってますね」と言われ続け、順調に成長を遂げ、今では300人の社員、研究所は東京・千葉・埼玉と公開企業としての役割をしっかりと果たしております。

会社を退任した今でも環境行政の一翼を担ってきたという大きな自負を持っています。その時、これからの人生は3分の1ずつをワークと、趣味と、ボランティアにと設計したが、今ではボランティアが多い。

これからも心豊かに「か(感謝と感動)・き(興味)・く(くよくよしない)・け(健康)・こ(好奇心)」をモットーに“すてきに輝いて素敵に生きたい”と願っている。



会員番号 118 **馬場 征彦** (ばば ゆきひろ)

- | | |
|-----------|---|
| ① 2010年3月 | ⑤ NEC常務取締役、NECネットSI(1部上場)社長 |
| ② 1938年 | ⑥ 住めば都 |
| ③ 愛媛県 | ⑦ ゴルフ、囲碁、合唱、俳句、スポーツ吹き矢 |
| ④ 八王子市北野台 | ⑧ 180 欧州勢の技術戦略の一例
206 ウクライナ・黒海クルーズの旅
228 海外での受難の記 |

私のプロバスクラブ(PC)・ライフ

PCに入会して2015年3月で満5年となり、4月には6年生になりました。当初は未知の世界に飛び込んだためか、多少の気おくれ、戸惑い、場違い等の感覚がありましたが、今ではそれも解消しクラブライフを楽しんでいます。私にとってPCのメリットは次の様です。
①OBとなってから多くの方々と知遇を得、刺激を受けていること、②例会や諸活動が生活のリズムの一環になっていること、③同好会活動(囲碁、ゴルフ、俳句)が楽しみであること(シニア・ダンディーズも)、④クラブの活動を通して、今まで無知であった地元八王子について徐々に知識が蓄積して愛着が湧いてきたこと、⑤八王子「宇宙の学校」や学習サロン等の奉仕活動に微力ながら参加できること、等です。今後も会員の皆様から刺激を受けつつ、PCライフを楽しんで行く所存です。



会員番号 119 田中 信昭 (たなか のぶあき)

- | | |
|------------|------------------------------|
| ① 2010年3月 | ⑤ 旭化成(株) 専務取締役・CIO 他 |
| ② 1940年 | ⑥ ポレポレ(ゆっくりゆっくり) |
| ③ 大阪府 | ⑦ ゴルフ、囲碁、アルトサックス他 |
| ④ 八王子市みなみ野 | ⑧ 205 全日本プロバス協議会全国総会ツアーに参加して |
| | 210 桃の里と国際交流のこと |

滋養のあるもの

終戦の時は5歳であった。父は出征しており、大阪郊外の枚方という所で母と姉との3人暮らしだった。大阪の大空襲の日、西の空が赤々と燃えていたのがかすかな記憶である。それより、翌日沢山の灰が降って来た。本の焼けたものであろうか、印刷の文字のはっきり残ったページの灰であった事は鮮明に覚えている。父は何年か後に復員したが、我が家の貧乏暮らしはその後永く続いた。小学校は4回も変わった。小学校高学年の頃、友達と元気に遊んでいてよく意識不明になって倒れた。往診に来た女医さんに注射を打ってもらいながら聞こえたのが、「脳貧血ですね、偶には滋養のあるものでも食べさせてもらいなさい」当の本人よりも、この言葉を聞かされた母親の辛さは如何ばかりだったかと…

然し、あんなにひ弱だった自分が、人一倍元気にこの年齢まで生きてこられた幸運に感謝すると同時に、育ち盛りに余り充分食べられなかった子供は、体格こそあまり大きくならないが案外元気で、むしろ最近の飽食の時代の子供が、我々の年齢以上に元気で長生きできるのであるかと思ったりしている。



会員番号 121 山形 忠顯 (やまがた ただあき)

- | | |
|------------|-----------------------|
| ① 2010年5月 | ⑤ 東京二期会正会員・上越教育大学名誉教授 |
| ② 1938年 | ⑥ 離見の見 |
| ③ 東京都 | ⑦ 野山跋涉 |
| ④ 八王子市小比企町 | ⑧ 178～180 水盃(1～3) |
| | 221 声楽事始め |
| | 233 バイエルから第九のソロまで |

第3の故郷は1足の草鞋

大学卒業の1962年春、「芸道修業は一生。定職に就いて地道にやっていきなさい」と柴田睦陸・秋元雅一郎両先生に諭されて、私は、学校教員で教育活動、二期会会員として演奏活動という2足の草鞋を穿く道を選んだ。以来、77歳の今日まで、浅学菲才の私が滞ることなく自己実現に向かって生きてこられたのは、師の教えのお蔭であったと沁々思う。

父は江戸っ子、母は大連っ子、私は東京っ子であるが、上越市高田を第2の故郷と決めて骨を埋めるつもりで31年余を暮らした。しかし、大学教官定年退職後、66歳を過ぎてから諸般の事情で上京せざるを得なくなり、落ち着いたのが、此処、八王子である。以来10年、難題を何とか克服し、八王子は第3の故郷となり、何の憂いもなく声楽演奏研究に励めるようになった。1足の草鞋で生きていけるようになった。これほど有難いことはない、真に幸せ者と思っている。



会員番号 122 **野口 浩平** (のぐち こうへい)

- | | |
|-----------|----------------------|
| ① 2010年8月 | ⑤ (株)ダイコー 営業部長 |
| ② 1943年 | (財)東京都ユースホステル協会 常任理事 |
| ③ 八王子市 | ⑥ 情けは人の為ならず |
| ④ 八王子市上野町 | ⑦ 旅行、美術鑑賞、映画鑑賞 |

趣味の旅について

今でも毎年海外に、5～6回でかけますが、旅好きのきっかけは、ユースホステル運動にあります。学生時代、安価で安心な旅が出来ることを知った私は、この運動に、夢中になりました。当時ユースホステルのサークルは、八王子にはなく、立川市にグループ多摩のサークルがありましたが、八王子の人は入会を許されず、それなら、八王子にグループを作ろうと、地元学生や社会人を集め、半年後グループ結成にこぎつけました。グループの名は「くわの実」、初代会長に私が選ばれ、八王子を起点に活動したのは、21歳のときでした。

その頃は毎年50泊以上ユースホステルに泊まり、仲間うちで有名だったものです。そのうち国内旅行ではあきたらなくなり、26歳のとき、会社を退職し、外国へとユースホステルの旅に出かけ、1年1か月後帰国。

今でも放浪癖はなおらず、次は何処へ・・・・・・・・・・夢はつづく。



会員番号 123 **寺田 昌章** (てらだ まさあき)

- | | |
|-----------|--|
| ① 2010年9月 | ⑤ オリンパス(株) 取締役専務執行役員 |
| ② 1945年 | ⑥ 努力(石の上にも3年) |
| ③ 東京都 | ⑦ 旅行、ゴルフ |
| ④ 八王子市北野台 | ⑧ 190 ポリペクトミー(ポリプ切除術)の経験
220 私とラグビー |

内視鏡の開発

40数年にわたる内視鏡の開発と、開腹せずに内視鏡で小手術ができるようにする為の処置・手技方法の開発と、それに必要な器具(処置具)の開発に従事してきた。入社当時は内視鏡という言葉すら知られていなかったが、現在では内視鏡は医療効率(総医療費、設備投資が安い)が極めて高く、患者に優しい為(手術や入院の負担がない事や傷跡がない等)、医療・病院に不可欠な存在になっている。その発展過程の真ただ中で仕事が出来た幸運・喜びは大きい。今度は自分が患者になる確率が高いので、益々の内視鏡の発展を祈っている。最近は家族10人での旅行(せいぜい3回/年)と夫婦での小旅行を数回/年行っている。長期旅行(義母の看護があるので)が出来るのは何時になるやら。



会員番号 124 **河合 和郎** (かわい かずろう)

- | | |
|-----------|-------------------------|
| ① 2011年1月 | ⑤ 八王子市財務部長、八王子商工会議所専務理事 |
| ② 1937年 | ⑥ あるがままに与えられた環境で最善を尽くす |
| ③ 東京都 | ⑦ 俳句、ゴルフ |
| ④ 八王子市上川町 | ⑧ 198 閑話3題
228 知床の夢 |

あるがままに生きて

「思えば遠くへ来たもんだ……」そんな歌があったか。転つ転びつの我が人生も80歳に手が届く。ずいぶん遠くへ来てしまった。軍事大国へとひた走った昭和の初め、世界の列強を相手に完膚なきまでに叩き潰された大戦の悲劇。「国破れて山河在り」とは名ばかり。残された山河も壊滅状態だった日本。戦後50年、無我夢中で経済活動を支えた一億の民。そして、戦後70年、私たちは一体何をしてきたのだろうか。超高齢化社会の入り口に、1000兆の借財を抱えた借金大国の姿が浮かぶ。経済力と言う打ち出の小槌で、何でもありの生活を欲しいままに突っ走った70年。これからこの宴の後始末をどう付けるのだろうか。これは「あるがままに」では済まされない思うのだが。



会員番号 125 **根本 洋子** (ねもと ようこ)

- | | |
|------------|--------------------|
| ① 2011年1月 | ⑤ 右田病院事務次長、現在病院参与 |
| ② 1944年 | ⑥ 母のような母親に、人間本来無一文 |
| ③ 八王子市 | ⑦ 旅行、温泉 |
| ④ 八王子市中野山王 | ⑧ 196 病院今昔物語 |

プロバスクラブに入会して

プロバスクラブに入会のおさそいを受け、はや5年。立場の違いを感じつつ毎月の例会に参加しております。

職場も全面的に応援してくださり、私としては、幼少より現在に至る間の勉強不足、教養不足を、今皆様と一緒に勉強できることを幸福と思っております。

そして今、私が会得したことを地域、社会に還元できるよう努力を重ね、沢山の人達との出逢い、触れ合いを大切に、人が好き、出来る事は積極的に、を心情としてこれからも生きていこうと思っております。



会員番号 126 **根本 照代** (ねもと みつよ)

- | | |
|-----------|------------------|
| ① 2011年6月 | ⑤ 都立病院・民間病院看護部長 |
| ② 1942年 | ⑥ 美しいもので心を洗う |
| ③ 静岡県 | ⑦ 園芸、絵画、社交ダンス |
| ④ 八王子市館町 | ⑧ 210 幸せは健康づくりから |

この自然に癒されて

四季の中で一番好きな季節は春、桜の花が咲く頃、多摩の山々は一斉に芽吹き、その緑も木の種類により微妙に色が違い、また所々にピンク色の桜が色を添え、そのパステルカラーの風景は実に美しい。

鶯のさえずりを聞きながら庭に咲いた花々とこの景色を眺めていると、43年前この地に居を構えた頃を思い出す。朝を告げる雄鶏の鳴き声が遠くの農家から聞こえ、そのうち牛が「モー」「モー」と泣き出し、電線に止まった雀たちのおしゃべりで目が覚めた。

今はもう鶏も牛も雀さえも見られない。でも、虫は復活した。池の沢に虫を増やす会が活動しているからである。自然もほうっておくと美しさを保つことは出来ない。子供達が幼い頃から心地よい自然に恵まれるように、私達は環境を整えてあげたい。自分が自然から得られた沢山の豊かさ、それ以上に。



会員番号 127 **内山 雅之** (うちやま まさゆき)

- | | |
|------------|---------------------|
| ① 2011年6月 | ⑤ (株)関電工 企画室室長 |
| ② 1936年 | ⑥ 誠実さ、思いやり |
| ③ 八王子市 | ⑦ 能狂言、茶道 |
| ④ 八王子市みなみ野 | ⑧ 209 シルクロードの一部を旅して |

「学ぶことの大切さ」

NHK ラジオ深夜便「心の時代」を聞き始めて、20数年が経過しましたが、未だに耳に残っている言葉があります。「少にして学べば則ち壮にして為すことあり。壮にして学べば則ち老いて衰えず。老いて学べば則ち死して朽ちず。」

江戸末期の儒学者、佐藤一斎の書「言志四録」に出てくる言葉です。「老いて学べば則ち死して朽ちず」とは、年をとってから学ぶことに真剣になれば、死んでもその人の徳は生きて多くの人に影響をあたえる。という意味だそうです。

私は、この中の「老いて学ぶ」という言葉が好きで、還暦を過ぎてからもまた定年後にもいろいろなことに取り組んで来ました。60歳からスキーを始めたこと、65歳で退職してからは、東京農大の通信教育を受講したこと、67歳で茶道の稽古を始めたこと、72歳からは能狂言を勉強し始めたことなどです。残りの人生は僅かですが、これからは新しいことにチャレンジして行こうと考えております。



会員番号 128 **岡部 洽** (おかべ ひろし)

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ① 2011年7月 | ⑤ キャタピラー三菱(株)、八王子体育協会事務局長 |
| ② 1935年 | ⑥ 出来るまでやれば出来る |
| ③ 八王子市 | ⑦ ゴルフ、旅行、ガーデニング、社交ダンス、酒、 |
| ④ 八王子市上野町 | カラオケ、映画・絵画鑑賞、スポーツ観戦 |
| | ⑧ 203 春の花々 |

懐かしき刻 (とき)

若いうちは、「過去は絶対に変えられないから再発防止の参考にするだけ。今と、これからを見据えて全力を尽くす」ことをモットーにしていたのですが、最近、しきりに昔が懐かしいと感じるようになったのはトシのせいなのでしょう。

私の身の周りから消えたものがたくさんあります・・・家を出ればすぐ見つけられた「ススキ、ワレモコウ」。池に寒天状の卵を産み付けた「ガマ蛙」(これは家に縁の下がなくなったせいかも知れません)。「牛馬の糞」、従って「フンコロガシ」を見ません。「トンボ」、特に「電気トンボ」。「蟬、ヒグラシ」。まだ舗装されてない道路があった頃、雨上がりに水たまりが出来るとすぐに飛んで来た「アメンボウ」を見なくなりました。夕方の空に沢山飛んでいた「コウモリ」。夏、藪で暑苦しく鳴いていた「キリギリス」。ついでに、「外で遊んでいる元気な子ども」を見なくなりました。寂しいことですね!



会員番号 130 **高橋 敏夫** (たかはし としお)

- | | |
|------------|-------------------|
| ① 2012年12月 | ⑤ 八王子市職員、こども科学館館長 |
| ② 1949年 | ⑥ 好奇心 |
| ③ 山梨県 | ⑦ 旧車談義 |
| ④ 立川市幸町 | ⑧ 211 車は必要か |

旧車ってなんだろう

自動車とは、単なる移動のための手段をはるかに超えた何物かである。むしろ自動車は感情と願望に包み込まれた存在であり、そのことが車を文化的なシンボルの位置にまで高めている。

自動車がどのような段階を経て私たちの願望の世界を占めるに至ったかを跡付けるために、時代を追って、完成度を高めていく自動車に対する私たちの欲求が目覚め始めた時代、それは、快適さを求める欲求が広がり、スピードへの愛が生まれ、時計と共に車が「時間を節約する機械」と見なされるに至った時代である。

この時代は、いわゆるモータリゼーションの中で、大量に多種多様な自動車が生産されていた。独特な発想のもと、個性豊かな車が街を往来していたのである。この自由気ままな発想からの技術は、この時代がピークを極めたように感じられる。古き良き車(旧車)とのライフスタイルは、私は最も大事にしている。



会員番号 131 **山口 三郎** (やまぐち さぶろう)

- | | |
|------------|---------------------|
| ① 2012年12月 | ⑤ (独)国際協力機構 中南米部 部長 |
| ② 1947年 | ⑥ 焦らず、慌てず、諦めず、一步一步 |
| ③ 長崎県 | ⑦ ラテン音楽鑑賞 |
| ④ 八王子市台町 | ⑧ 211 思い出 |

センチメンタルジャーニー

46年前の今頃、大学を休学した私は神戸港から乗船しフランス郵船ラオス号の船上にいました。

まだフランコ独裁政権が華やかなりし頃のスペイン、マドリード大学への語学留学のためでした。途中横浜港まで見送りに来た海軍航空隊出身の父が攻撃機の出撃を最後まで見守るように白いハンカチを千切れんばかりに振っていた姿を強く思い出します。香港、シンガポール、バンコク、コロンボ、モンバサ、ダーバン、喜望峰をまたぎ、そしてセネガルダカール港を経て感動的なジブラルタル海峡を越え59日目によくマルセイユ港に到着いたしました。

国際列車に乗り換えてマドリードに着いたのは翌日の朝、4月の初めだったと思います。これから始まる新しい生活に胸を弾ませ、本当に遠くへ来たもんだと感じたものでした。

センチメンタルジャーニーではないけれど、今度は家内と一緒に是非ともこのルートを改めて旅したいと思っている今日この頃です。



会員番号 133 **磯 洋一** (いそ よういち)

- | | |
|-----------|-----------------|
| ① 2014年2月 | ⑤ 八王子市まちづくり計画部長 |
| ② 1944年 | ⑥ 知行合一 |
| ③ 東京都 | ⑦ ゴルフ |
| ④ 八王子市川口町 | |

病から運が生まれる私の人生

私は18歳、高校3年の時に腎臓病になり1年間入院をしました。それまでは、中学・高校と野球部のキャプテンをし、高校のときは秋の新人戦で多摩地区の強豪校を破り、その学校始まって以来のシード校にまで頑張りました。大げさに言えば甲子園を目指す東京都の夏の大会を前に腎臓病が発覚してしまい入院を余儀なくされることに、なんとか親を説得し病院のベッドを予約し大会の出場をはたしました。無理が響いたのか入院後急性腎炎だったのが慢性腎炎となり、学校も1年留年してしまいました。

我が家が貧しかったこと、また、気力も失せていたこともあり大学には行かず、学校の紹介で八王子市役所に就職しました。

何が幸いするかわかりません。多分この腎臓病のおかげで、その後の40数年今思えば充実し楽しい就労生活が送れ、多くの友人にも恵まれることとなったのだと思います。



会員番号 134 **鈴木 はるみ** (すずき はるみ)

- | | |
|-----------|--------------------|
| ① 2014年2月 | ⑤ セント・ベル幼稚園副園長 |
| ② 1949年 | ⑥ 求めなさい、そうすれば与えられる |
| ③ 静岡県 | ⑦ 料理、観劇観賞 |
| ④ 八王子市並木町 | |

私と幼稚園の関わりと思い

振り返ると早いもので40年近くの月日が過ぎました。たくさんの思い出が走馬灯の様に思い出されます。

一つ一つの思い出が、今日に繋がってきていると改めて感じる昨今です。楽しい思い出を、職員達と共に、多くの園児たちの可能性や、新しい発見等、共に育てる楽しさと、見守るうれしさと、大きな喜びを、毎日毎日感じながら幼稚園という仕事に関わっていて、つくづく良い環境に出会ったと思っています。

幼稚園の関係で、神父様との出会いも多く心の栄養を頂きました、ジュベナール・ダウ神父様(日本名字田由利夫神父様)と共に神父様の母国のカナダへの旅が懐かしく今でも忘れません。そして自分の生きる羅針盤として聖書のことばや、神父様のおしえを大事にしていきたいと考えている今日この頃です。神に感謝。

これからは、健康に留意しながら八王子で出会った人々と楽しい時間を過ごし、自分の好きな料理や観劇を更に充実したいと思います。



会員番号 135 **山崎 光子** (やまざき みつこ)

- | | |
|------------|-------------------------------|
| ① 2014年12月 | ⑤ 国立大学教育学部文部教官
都内私立大学非常勤講師 |
| ② 1954年 | ⑥ 明るく楽しく謙虚に |
| ③ 群馬県 | ⑦ 旅行、オカリナ演奏
小中学生の英数指導(無料塾) |
| ④ 八王子大船町 | ⑧ 238 子どもの貧困を支援する若者たち |

新たな学び、新しい人生の第一歩

50歳までは、勉強と仕事、子育て等で多忙な日々でしたが、幅広い年齢層の学生や生徒、仲間たちと生活を共にしたり指導に明け暮れたりする中でたくさんの感動に出会えました。仕事の合間には友達や子供たちと様々な国を旅したり、スキー、スケートなどを楽しんだりと、子育ての充実感や旅の楽しさも味わうことができました。

八王子に来て10年。昨年還暦を迎え、年相応に容姿は変わりましたが、気持ちはまだまだ青春。結婚当初から毎朝欠かさずハートを散りばめた愛妻弁当を作り、車が見えなくなるまでお見送り。生活の中で息抜きができるささやかな時間のゆとりができたのを機に、自宅で無料塾を始めて2年目。子どもの貧困率は16%、貧困の連鎖が大きな社会問題に。高校受験合格の知らせは我が子の時と同じように大きな感動でした。今年はプロバスクラブの皆様との出会いと新たな学び、新しい人生の第一歩。どうぞ宜しくお願い致します。



会員番号 136 **持田 律三** (もちた りつぞう)

- | | |
|------------|--------------------|
| ① 2015年9月 | ⑤ OBARA(株) 代表取締役社長 |
| ② 1945年 | ⑥ 冷たき頭脳と暖かき心 |
| ③ 埼玉県 | ⑦ ゴルフ、短歌、水彩 |
| ④ 八王子市みなみ野 | |

アジアの力

最近外国人の観光客が多くなった。銀座、新宿はもちろん日本のどこに行っても見かける、特にアジアの人たちが多い。金沢の兼六園に行って写真を撮ろうとしたら多すぎて取れなかった。知床へ行って木道を歩いていたらどこでも「イー・アール・サン」と言ってカメラを構えていた。中国人の「爆買い」という言葉も定着してきた。昔日本人も1970年代の成長期には海外へ行って沢山の土産を買ってきた。私もその頃初めての欧州海外出張先で兄貴などに頼まれてライター(デュポン・漆)、ペン(モンブラン)、時計(オメガ)などを買ってきたことがある。当時日本人の海外でのマナーも決して褒められていなかった。

今やアジアの人たちが我々と同じ道を辿り始めた。日本はその後20年でバブルを迎えたが、アジアはそんな年数を掛けずにピークを迎えるであろう。脆弱な面も持っているが、人口やコストなどの強みも持っている上に、従来の先進国の弱点を学習して、遭遇する困難を克服してくることは十分考えられる。

そんな潜在的競争力のあるアジアの力をうまく生かしていくことに気が付かないと日本は取り残されてしまう。もう一度アジアとの共生を考えることが大切と思う。



会員番号 137 **有田 進治** (ありた しんじ)

- | | |
|------------|----------------------------|
| ① 2015年9月 | ⑤ (株)日立製作所 旭工場総務部長 |
| ② 1945年 | (株)日立ハイテクフィールドイング 取締役管理本部長 |
| ③ 広島市 | ⑥ 生涯現役 |
| ④ 八王子市みなみ野 | ⑦ テニス、卓球、ゴルフ、合唱 |

我が卓球事始め

地域のシニア仲間とテニスや卓球、ゴルフを楽しんでいる。特に2年前からは卓球に力を入れている。卓球はこれから末永く楽しめる格好のスポーツだ。ただ、悩みは卓球場が少なくプレー時間が限られること。これは一旦、始めたら徹底してやる自分にとり大問題。現役の工場時代、テニスに没頭しテニスコート付の自宅をつくろうと土地を購入した。

しかし、この夢は東京転勤であえなく潰えた。今は幸い転勤の心配もない。「そうだ！自宅に卓球場を作ろう」と思い立った。最大の難問は妻の了解を得ること。とかく夫のロマンは妻の不満のもと。正直に卓球場にリフォームしたいと言えば拒否権の即発動は明らか。半年がかりで手練手管を弄し、妻を何とか説得できた。

今は、この完成した卓球場を活用し地域社会に貢献する新たな夢を膨らませている。この調子では、見つめ合いのラブラブ夫婦も、にらみ合いの夫婦になること必定？再び妻の説得大作戦の開始である。

[休会会員]



会員番号 117 **橋本 晴重郎** (はしもと せいじゅうろう)

- ① 2010年2月
- ② 1934年
- ③ 東京都
- ④ 八王子市子安町
- ⑤ 警視庁参事官、KDDI 参与
- ⑥ 成せばなる
- ⑦ 古社寺巡礼、温泉めぐり、ゴルフ
- ⑧ 180 老人クラブの生い立ちと現状
202 ふくしま復興支援ツアー
228 富士山の名称起源

[委員会別写真集]

(情報委員会)



(例会委員会)



(交流担当)



(宇宙の学校)



(研修委員会)



(三役)



(会員委員会)



(地域奉仕委員会)



(説明) 上記写真は、6月総会が終了した後の懇親会において、各委員会別に登壇して1年の総括挨拶を会員各自が行なった際のスナップである。

IV 20周年記念事業特集

① 海上自衛隊音楽隊演奏会・創立20周年記念音楽観賞会

東京プロバスクラブ創立20周年記念事業として、8月28日（金）に、海上自衛隊東京音楽隊の八王子演奏会の鑑賞会を開催した。

地域奉仕活動は、当プロバスクラブの重要な活動の一つとして位置づけられているが、学習サロンや宇宙の学校はじめ平素より多方面にわたってご協力、ご理解をいただいている地域の皆様800名もの方々を、今般開催された海上自衛隊東京音楽隊の八王子オーリンパスホールでのコンサートに主催者のご協力をえて、お招きした。

海上自衛隊東京音楽隊は、わが国の誇る吹奏楽の名ブラスバンドであり、三宅由佳莉隊員のソプラノの美声も加わって、入場券の確保もままならない程の人気を得ている。

当日は、早い時間から皆様がお出でになり、満席のもと、第1部の日本民謡ほかのバラード風の名曲から、第2部の月と星など、わがプロバスクラブの活動テーマの一つである「宇宙」にかかわる月や星の名曲の数々によいしれた一時を過ごせていただけたものと思う。

アンコール曲の「見上げてごらん夜の星を」と「軍艦マーチ」を堪能したあと、帰路についた人々がつぶやいている感想をうかがうと、「大変素晴らしい午後を過ごすことができた」「白い制服のすがすがしさと各曲とがなんとマッチしていたことか」「テレビで聴いたことがあったが、実像の三宅さんの美声と可愛いさ」「メンバーによる見送りも音楽隊が身近になった」など、軽やかな足取りに満足の度合いが表われていたように感ぜられた。






海上自衛隊東京音楽隊プロフィール

東京音楽隊は、海上保安庁音楽隊を前身とし、1952年海上警備隊音楽隊として発足しました。保安庁警備隊音楽隊、海上自衛隊音楽隊と名称を変え、1956年に現在の名称となり、海上自衛隊を代表する防衛大臣直轄の音楽隊として「隊員の士気高揚のための演奏」、「儀式、式典における演奏」、「広報演奏」を任務とし、日本国内にとどまらず、幅広い演奏活動を行っています。海上自衛隊下位機関の、皇太子殿下に威厳パレードをはじめ、オリンピック、世界陸上競技会、万国博覧会等の国家的な行事に参加しており、天皇陛下御即位二十周年をお祝いする国民祭典（2009年）では奉祝演奏を行いました。また、ロシア海軍300周年記念行事（1996年）、大韓民国国慶祝式世界音楽祭（1998年）、ノルウェー・ミラタリー・タトゥー2014（2014年）等に招待され参加したほか、海上自衛隊が毎年実施している遠洋練習航海に隊員を派出し、世界各地の港を中心に音楽を通しての国際親善に貢献しています。

国内では定期・定例演奏会をはじめ、全国各地でのコンサート、世界吹奏楽大会、日本吹奏楽指導者クリニック、21世紀の吹奏楽「響宴」等への出演に加え、CD録音にも積極的に取り組んでいます。2013年8月にリリースされた「祈り〜未来への歌声」が、第55回日本レコード大賞企画賞、第28回日本ゴールドディスク大賞クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー、第6回CDショップ大賞クラシック賞を受賞しました。



3等海曹 三宅 由佳莉 (ソプラノ)

岡山県立岡山城西高等学校普通科音楽系、日本大学芸術学部音楽学科声楽コース卒業。声楽を渡邊麗氏、山田英保氏に師事。2009年4月海上自衛隊に入隊。同年9月、東京音楽隊にヴォーカリストとして配属。ジャンルにとらわれないその歌声は、多くの支持を集めている。なかでも東京音楽隊オリジナル作品を中心とした「歌と吹奏楽」という新たなスタイルへの取組は多方面から好評を得ており、テレビやラジオ等にも活躍の場を広げている。

これまでにパリ・ギヤルド・レシブリグーヌ吹奏楽団（パリ共和国楽隊音楽隊）仙台フィルハーモニー管弦楽団、ニュージャランド出身の歌姫ヘイリーと共演岡山県出身。

～ 第 1 部 ～

- ・アーセナル・・・・・・・ J. ヴァンデル ロースト
- ・バストロンボンのためのバラード・ J. ヴァンデル ロースト
- ・額田王の4つの歌・・・・・・・ 井淵 昌樹
- ・日本民謡組曲「わらべ唄」・・・・・・・ 兼田 敏

～ 第 2 部 ～

- ・スター・パズル・マーチ・・・・・・・ 小長谷 宗一
- ・フライ・ミー・トゥ・ザ・ムーン・ B. ハワード
- ・荒城の月・・・・・・・ 瀧 廉太郎
- ・朧月夜〜祈り・・・・・・・ 岡野貞一/葉加瀬太郎
- ・不思議の国のアリス・・・・・・・ S. フェイン
- ・月の光・・・・・・・ C. ドビュッシー
- ・スター・ウォーズ・・・・・・・ J. ウィリアムズ

主催：八王子市防衛協会・隊友会八王子支部・自衛隊父兄会 後援：八王子市教育委員会



詳細は後述するが、当クラブでは、今回の演奏鑑賞会の演奏を楽しむだけでなく、地域のお役に立つことが何かできないかと熟慮した結果、東北大震災の爪痕のまだいえないいわき市の中学校に、音楽観賞の折にチャリティ募金をお願いすることで宇宙に関する図書による「中学生宇宙文庫」を贈呈することとし、地域の皆様より多大のご厚意をいただいたことに感謝したい。

② 輝く宇宙八王子展

東京八王子プロバスクラブでは、20周年記念事業として、また八王子「宇宙の学校」開校5周年キャンペーンとして、「輝く宇宙八王子展」を、10月18日（日）から10月31日（土）までの14日間にわたり開催した。

会場は八王子市八王子駅南口総合事務所の多目的スペースをお借りして、当クラブと八王子市こども科学館とが主催し、認定 NPO 法人 KU-MA「子ども・宇宙・未来の会」の共催を得て、展示物品をご提供していただいた JAXA 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構と八王子「宇宙の学校」後援会の後援のもとに実施された。

「こうのとりのり」や「はやぶさ」はじめ、こういった機会で見られない展示品を、地域の方々が広くご覧いただけるように、東日本旅客鉄道（株）、京王電鉄（株）等の協力を得て、10月1日から31日までの1ヵ月間、JR 八王子駅、京王線の聖蹟桜ヶ丘駅から京王八王子までの各駅、京王相模線・高尾線・高尾登山電鉄の各駅に、別掲のポスターを掲示して広く周知に努めた。



八王子駅駅南北通路のポスター掲示

主なる展示品は、次のとおりである。

- ・船外活動宇宙服・H-Ⅱ B ロケット・こうのとり
- ・宇宙日本食・国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟
- ・小惑星探査機 (MUSES-C)「はやぶさ」
- ・「はやぶさ」帰還カプセル、カットモデル (レプリカ)
- ・ペンシルロケット (レプリカ)・日本のロケット開発の流れ
- ・H-Ⅱ A ロケット・ソユーズ宇宙船・ソユーズロケット
- ・ソコル (打ち上げ時、帰還時宇宙服)



展示品の説明文は、展示品の前に看板の形で建てるなど、見学者に見やすいように配慮し、また、期間中、会員が担当して、見学に見えた方々がスムーズに見学できるよう、誘導・案内をおこなった。

展示会の最初の日、10月18日(日)の午前9時、東京八王子プロバスクラブ永井会長の開会宣言によって、2週間にわたる「輝く宇宙 八王子展」の幕が上がった。



会長の開会宣言



期間中は、最初の日と24、25の土日、最後の土日は、想定以上の方々に賑わい、それ以外の日も多くの見学者が訪れてくださり、総計では3944名の多きに達した。このように今回の「輝く宇宙八王子展」を成功裏に終えることができたが、それは展示スペースが八王子市役所のご厚意により市民なじみの場所で、JR 八王子駅の至近距離にあるところをお借りできたことが大きな力になっていると思う。

見学者の感想は、すべての方々から「素晴らしかった」「学校でチラシをいただきやってきたが、よい勉強になった。宇宙の学校にも参加している」「ポスターを見てやってきたが、ためになったので、子どもを連れて再度訪れるつもりだ」といったような賛辞の声が異口同音で聴かれた。

個々の展示については、総重量120kgに及ぶ巨大な船外活動宇宙服には人気が続いて、スマホと一緒に写真を撮るといった場面が多く見られた。とはいえ、各人ご自分の思いとの関係で、気に入ったというか感銘を受けた展示品(「人類の宇宙への挑戦」などの大型グラフィックを含め)が、それぞれ異なっているように感じられたのも、今回の展示会の内容について JAXA のきめ細かい配慮があったおかげであると感謝している。

③ 記念講演会

講演者 JAXA 名誉教授 的川 泰宣 先生
演 題 この国とこの星と私たち

20周年記念講演会として、また八王子「宇宙の学校」開校5周年のキャンペーンの一環として、JAXA の名誉教授であり、KU-MA (子ども・宇宙・未来の会) の代表を務めておられる的川泰宣先生にお願いして、京王プラザホテルにおいて、「この国とこの星と私たち」と題する講演会を開催した。



講演の要旨は、次のとおりである。

- ・まずはじめに、小惑星探査機「はやぶさ」のことについて触れておきたい。2003年に打ち上げられた「はやぶさ」は、2005年に小惑星イトカワに到達し、その表面を詳しく観測してサンプル収集を試みたのち、2010年6月13日、60億 km の壮大な旅を終えて大気圏に再突入し、オーストラリアのウーメラ砂漠に着地し、帰還カプセルが回収され、世界初となる小惑星のサンプルを持ち帰った。

世界も驚くローコストでのこのような成功は、わが国の150社ほどの中小企業が大手に混ざって参加して日本特有のチームワークで各分担を担ったことに見るごとく、糸川博士の「金がないなら頭を使え」との教えが底辺にあって、まさに「日本人の物作りの素晴らしさ」と「適度な貧乏と未来への高い志」が高い次元での成功に導いたのである。

- ・19世紀までの日本は、世界の歴史の流れの中で、独立の歩みをしてきた。正倉院の御物にはシルクロードの反映があるし、中国からのさまざまな影響を考えれば、完全な独立とはいえないものの、海を越えてやってきた他国の文化を、われわれの祖先は、旺盛な好奇心と抜群の器用さを持って、この国の風土に合うよう見事に作り替え、生活に採り入れてきた。
- ・一方、発信面では、作り上げた独自の文化を他国へ伝えようとした形跡は残っていない。創り上げた文化が他国の文化と異質だったが故に、欧米の文明にはなじまない状況の中で、鎖国を続けながら時間が経過していった。
- ・20世紀に入り、日露戦争を契機に日本と世界とのつながりが拡大し、太平洋戦争など重要なことの多かった100年の時を経て、日本は経済大国に変貌し、エコノミックアニマルなどといわれるにいたったが、欧米人のふつうの感覚からは車やカメラ、電化製品等については「メイドインジャパン」のすぐれた点を評価するが、日本人や日本文化については、あまり知ってはいない。ところが、あの3月11日の後、被災地の人々の様子がインターネットを通じて世界中につぶさに伝えられ、救援物資を自分たちのところより被害のひどい隣町にゆずる姿や、物資を奪い合ったりする外国のケースと違って、列を作って順番に物資の配布を待つといった「日本人」の真の姿が世界中から絶賛を浴びることとなった。



- ・これからの課題は、こうした評価を、ひとときのものでなく、真の意味で「節度と精神性の高い人々」という評価に変えていくとともに、国際貢献をあらゆる面で果たしていくことが、新たな時代を託す今の子ども達に課せられた新たな任務であると思う。
- ・昔ギリシャではオリンピックが始まると、交戦状態の都市国家は休戦したというが、現在の時代、あらゆる対立を乗り越えられるような「聖域」を有していないのが実態だ。これからの世代が宇宙を舞台として、世界のあらゆる人々が参加するプロジェクトを立ち上げ、それがあから紛争はできないといった聖域を創り出せたらと思う。この星に生きる私たちが平和を志向した宇宙プロジェクトを考えるうえで、団体としてのチームワークの強固な「和の心」を持ったわが国こそ独特の役割を担っていることを認識しておく必要がある。
- ・日本人の心に世界の平和を期待する心が芽生えているこのとき、多くの人々の期待を担って「はやぶさ2」が昨年秋旅に出た。6年に及ぶ雄大な挑戦を頭に入れ、新しい時代への決意を新たにしようではないか。
- ・最後に、私の好きな次の2つのことばをお伝えしたい。一つは「民族が大きく、たくましく栄えたのは、その息子たちが冒険を愛したからである。民族が没落したとするならば、それはその息子たちが危険への喜びを失ったからにすぎない」(ヘンリー・ヘーゲル)。もう一つは「普通の教師はいわなければならないことをしゃべる、良い教師はわかりやすく説明する、優れた教師は自らやってみせる、最高の教師は子ども達の心に火をつける」(ウィリアム・アーサー)

(文責・佐々木 正)

④ 記念式典・レセプション パーティー

八王子京王プラザホテルにおいては、記念講演会に続いて夕刻よりクラブ創立20周年記念式典およびレセプションパーティーを開催した。



記念式典開会のことば(大野初代会長)



会長挨拶

○記念式典

- | | | |
|--------------------|--------------------|---------|
| | (司会者) | 馬場 征彦 |
| ・開会の言葉 | 初代・10代会長 | 大野 聖二 |
| ・プロバスソング | ソングリーダー | 八木 啓充 |
| ・会長挨拶 | 会 長 | 永井 昌平 |
| ・来賓ご挨拶 | 八王子市長 | 石森 孝志 様 |
| | 国際ロータリー第2750地区ガバナー | 水野 功 様 |
| | 全日本プロバス協議会会長 | 中村 實 様 |
| ・ご来賓紹介 | 幹 事 | 田中 信昭 |
| ・チャリティ「中学生宇宙文庫」の贈呈 | | |
| 経過説明 | チャリティ部門長 | 立川富美代 |
| 目録贈呈 | 会 長 | 永井 昌平 |
| ・物故者に黙祷 | 20周年実行委員会 委員長 | 杉山 友一 |
| ・20周年の歩み | 同 上 | 同 上 |
| ・永年在職者顕彰 | 会 長 | 永井 昌平 |

永年在職顕彰者(創立15周年以降10年在籍達成者)(入会順、敬称略)

阿部 幸子	佐々木研吾	山崎 修司	阿部 治子	永井 昌平
橋本 鋼二	浅川 文夫	矢島 一雄	下田 泰造	小林 時雄
八木 啓充	荒 正勝	池田ときえ	東山 榮	澤渡 進

- | | |
|---------|----------|
| ・閉会のことば | 副会長 岩島 寛 |
|---------|----------|

〈チャリティ文庫の贈呈について〉

前記のとおり、海上自衛隊東京音楽隊の演奏鑑賞会の折、東北大震災の被害に遭われた方々のお役に立てるため、チャリティ募金を音楽会に参加された地域のみなさまにお願いしたところ、多大の基金をいただいた。

その基金の使途としては、八王子市が災害後直ぐに「いわき市」を震災救助都市として選んでいたことから、教育委員会とも相談の上、「いわき市立豊間中学校」に宇宙科学を中心とした図書を「中学生宇宙文庫」として贈呈することとした。豊間中学校は、いわき市の塩屋岬灯台の真下にある海のそばの学校で、津波により3階建ての校舎は骨組みだけとなり、生徒たちは間借りの教室で授業を受けている現状にある。今回の図書の寄贈が少しでもお役に立って、次代を担う生徒さんたちが読書になじみ、グローバルな考えを持って成長して欲しいと願っている。

今回の20周年式典において、豊間中学校の高濱俊彦校長にお出向きいただき、目録の贈呈をさせていただいた。

また、高濱校長から当プロバスクラブに対し感謝状をいただいた。



中学生宇宙文庫の贈呈



感謝状の受理

○ レセプション・パーティー

- ・開会のことば (司会者) 田中 信昭
会 長 永井 昌平
- ・来賓ご挨拶 八王子市教育委員会教育長 坂倉 仁
国際ロータリー第2750地区
多摩南分区ガバナー補佐 井村 廣巳

・ミニコンサート

記念式典に引き続き、立川富美代会員の司会のもと、アトラクションとしてミニコンサート「**魅惑の歌声で乾杯を**」と銘打ち、ソプラノの針生美智子さんとテノールの小貫岩夫さんによる素晴らしいオペラアリア等の歌唱（ピアノ 坂元陽子さん）に、参会者全員よいしれた一時を過ごすことができた。

＜歌唱曲＞

- ・オペレッタ「メリーウイドウ」より 3 曲
- ・カタリ・カタリ
- ・勿忘草
- ・オペラ「椿姫」より 乾杯の歌



- ・乾 杯 東京八王子南ロータリークラブ会長 山口 進一
- ・食事・懇談

お食事・懇談のなかでは、遠方から参加して下さった全日本プロバスクラブ協議会の会員、地域のかたがたはじめ多くの参会者が、短い時間ながら和やかな中に厚い友好、親睦を深めることができた。

- ・閉会のことば 20周年実行委員会副委員長 土井 俊玄

・エンディング

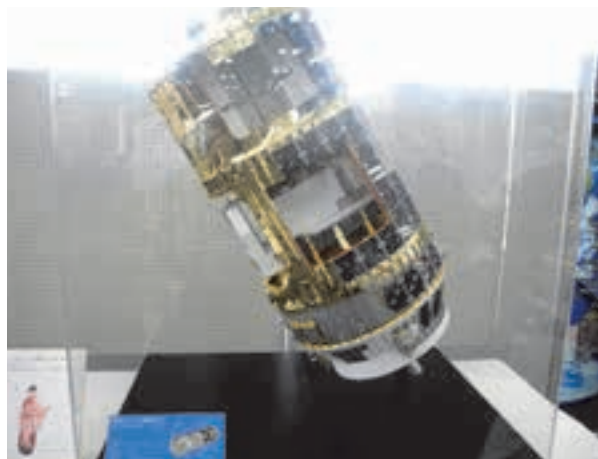
東京八王子プロバスクラブの男声合唱団として、平素より地域の行事等に参加して好評を博している「シニア・ダンディーズ」が、会員とともに「プロバス讃歌」を合唱したのち「さよなら」を歌って、20周年のつどいを閉じた。

20周年記念事業フォトアルバム

〈輝く宇宙八王子展〉



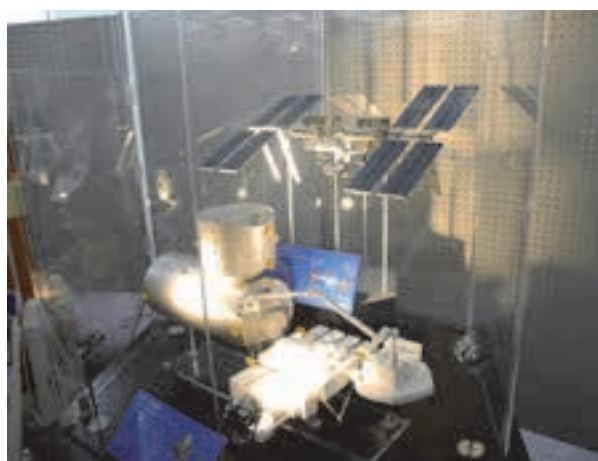
会場の入り口



こうのとりの



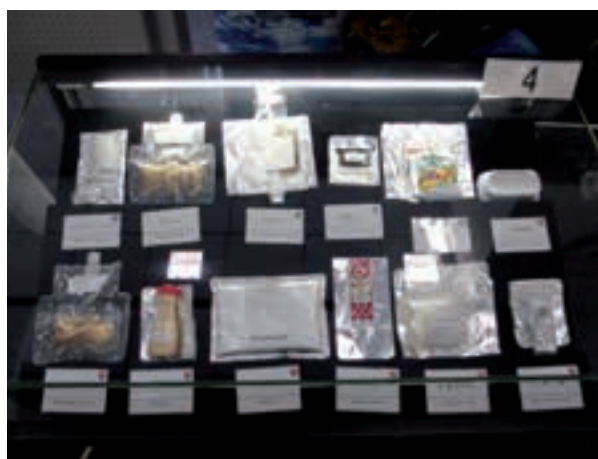
展示会場の内部



国際宇宙ステーション(ISS)「きぼう」



休日は家族連れのかたがたが多く訪れた



宇宙食いろいろ



人気者の二つの宇宙服



日本のロケット開発の流れ



お母さんの説明に聞き入るご家族



ちょっと腰を低くして



あれが宇宙ステーションよ！



会場でお配りした説明パンフレット

＜20周年のつどい＞



開会に先立ち来賓お迎えのため会員が集合する



受付が始まりいよいよ本番だ



会場入りするご来賓の皆様

＜記念講演会＞



的川博士のご講演は「はやぶさ」にかかわる
お話からはじまった



宇宙船内とクルーの映像



宇宙船内の映像



ご講演に対する謝辞(下山会員)

＜記念式典＞



来賓挨拶(石森八王子市長)



当クラブに加え、東京日野、
埼玉浮き城プロバスクラブも加わって
プロバス讃歌を合唱



立川会員によるチャリティの趣旨説明



「中学生宇宙文庫」の贈呈式



杉山委員長による「20年のあゆみ」の説明



永年在職者に対する花束贈呈(代表者)

〈レセプション〉



ミニコンサート「魅惑の歌声で乾杯」を



「乾杯の歌」ほかを絶唱



お待たせしました。
山口八王子南ロータリークラブ会長の
ご発声で“乾杯”



懇談も、いろいろな地域の方々が
にぎやかに、和やかに



エンディングは
シニア・ダンディーズ
の力強い合唱で



名残惜しいですが、
お別れの時かがまいりました

V 会則・運営細則・入退会等手続きに関する細則

[東京八王子プロバスクラブ会則]

制定 1996・06・29
改定 1999・08・19
改定 2007・06・14
改定 2009・06・11
改定 2009・12・10
改定 2014・05・08

- | | | |
|--------|---------|--|
| 第 1 条 | 名 称 | 本会は東京八王子プロバスクラブと称する。 |
| 第 2 条 | 地 域 | 八王子市及びその近隣地域とする。 |
| 第 3 条 | 事 務 局 | 八王子市内の会長の指定する場所、あるいは理事会で決定した場所。 |
| 第 4 条 | 目 的 | 知り合いを広め、豊かな人生経験を生かして、地域社会に奉仕する。 |
| 第 5 条 | 会 の 原 則 | 非政治的、非宗教的、非営利的の 3 原則とする。 |
| 第 6 条 | 会 員 資 格 | (1) 専門職業及び実業に従事し、指導的立場にあった方、並びにそれに準ずる方。
(2) 原則として 60 歳以上。 |
| 第 7 条 | 会 費 等 | 月額 3,000 円とし、入会金として別に 10,000 円を納付する。 |
| 第 8 条 | 月 例 会 | 毎月 1 回、原則として第 2 週の木曜日と定め、午後 0 時 30 分より午後 2 時 30 分までとする。 |
| 第 9 条 | 役 員 | 本会は、総会において理事 11 名および、会計監査 2 名を選出する。会長 1 名、副会長 1 名、幹事 1 名は理事の中から互選する。副幹事、交流担当、運営細則に基づく委員長、「宇宙の学校」プロジェクトリーダーは会長が指名する。 |
| 第 10 条 | 役員の任期 | 1 年とし、毎年 7 月 1 日に始まり、翌年の 6 月 30 日に終わる。ただし補充された役員の任期は、前任者の残存期間とする。 |
| 第 11 条 | 理 事 会 | 理事会は総会に提出すべき議案を決定し、常務を執行する。 |
| 第 12 条 | 総 会 | 本会は、年 1 回 7 月に定期総会を開催すると共に必要に応じ臨時総会を開催し本会運営の重要事項をはかる。 |
| 第 13 条 | 入会と退会 | 入会は、会員もしくは八王子ロータリアンの推薦を必要とし、退会は自由とする。 |
| 第 14 条 | 解 散 | 本会を解散しようとするときは、出席会員の 3/4 以上の決議を要する。 |
| 第 15 条 | 会 計 年 度 | 本会の会計年度は、毎年 7 月 1 日に始まり、翌年 6 月 30 日をもって終わる。 |
| 第 16 条 | 慶 弔 | (1) 会員死亡の場合、香典 10,000 円または供花等（時価）を行なう。
(2) 慶事及び前号以外の場合については、その都度理事会において審議決定する。
(3) 上記いずれの場合についてもお返しは不要とする。 |
| 第 17 条 | そ の 他 | (1) 会員は、東京八王子南ロータリークラブの例会に出席することができる。例会費はロータリークラブ会員と同額とする。
(2) 本会の例会に東京八王子南ロータリークラブの会員が出席することができる。例会費は、ロータリークラブの通常の例会費と同額とする。 |

[東京八王子プロバスクラブ運営細則]

制定 1996・06・29
改定 1999・08・19
改定 2009・12・10
改定 2014・05・08

プロバスクラブの円滑な運営を図るために次のような細則を定める。

- 第 1 条 この会に次の委員会を置く。
1. 例会委員会 2. 情報委員会 3. 会員委員会 4. 研修委員会 5. 地域奉仕委員会
- 第 2 条 会員は理事会の決定に基づき、これらの委員会または「宇宙の学校」プロジェクトのいずれかに所属し任務を分担する。ただし会長が承認する役職者はこの限りではない。
- 第 3 条 委員会に、委員長 1 名をおき、副委員長は委員長が指名する。
- 第 4 条 例会委員会は、例会運営のための準備、例会の進行及び出席の確認等を担当する。
- 第 5 条 情報委員会は、会員に対し例会の内容、行事の案内ほか、会員として必要な情報を収集し、伝達するほか、本会の活動を紹介するホームページを担当する。
- 第 6 条 会員委員会は新会員の募集、資格の審査等を担当し、会員の増強を計画する。
- 第 7 条 研修委員会は、知的ニーズの充足、趣味の習得等のプログラムを計画し運営する。
- 第 8 条 地域奉仕委員会は、地域社会に貢献する生涯学習計画を立案し、推進する。
- 第 9 条 会長は、必要に応じ、以下に定める特別な役職の会員を指名することができる。
(1) 本会の加盟する団体の役員
(2) 顧問
(3) 事務局長
(4) 「宇宙の学校」プロジェクトのリーダー等若干名

[東京八王子プロバスクラブ入会退会等手続きに関する細則]

制定 1997・12・04
改定 1999・01・07
改定 2002・06・12
改定 2009・12・10

- 第 1 条 入 会
(1) 会員となろうとする者を推薦するには、被推薦者の意思を確認のうえ、推薦書を会員委員会の委員長宛に提出する。
(2) 会員委員長は、速やかに委員会を招集し、入会を承認するか否かを審議し、その結果を会長に報告する。会長はこれを理事会に報告して入会の可否を決定し、推薦者に結果を伝達する。入会を承認するときは、会員となろうとする者にも伝達する。
(3) 急を要するときは、会員委員会及び理事会の決議を持ち回りその他の簡便な方法によること。
- 第 2 条 休 会
会員は、所定の用紙により申し出を行い、理事会の承認を得る。なお休会期間中、その間の会費は月額 3 分の 1 とする。
- 第 3 条 退 会
退会は自由とするが、所定の用紙により申し出るものとする。なお、6 ヶ月以上会費未納の会員は退会したものとみなす。この場合退会手続きは、予め本人と推薦者の了解を得てから行うこととする。

[シンボルマーク制定の経緯とシンボルマークの色]

(シンボルマーク制定の経緯)

ロータリークラブには世界共通のマークがあるが、プロバスクラブにはまだない。一部のクラブで使われているPのマークは、過渡的な要素が強く、一般には理解されにくいので、ロータリークラブが提唱したという意義と、プロバスクラブの国際性をあわせ、一見して、直ぐ理解できるように、地球のデザインを基調としてロータリーの歯車を表わしたものを採用した。

(シンボルマークの色)

マークの色は3色とし、次のような意義を表わした。

紫紺 地球を表わした中心部にあり、宇宙の深遠さと人類の英知を意味している。

緑 地球環境を守る自然を表わし、自然と人類の調和、共存を意味し、同時に、人類相互間の平和、交流を求める意味を持つ。

茶 大地を表わし、脚下をしっかりと踏まえ、地球に根付いた奉仕を意味している。

茶

(プロバスの文字)



紫紺

(中心の地球部分)

緑

(下部の葉の部分)

創立 20 周年記念事業委員会 名簿

実行委員長 杉山 友一
 同副委員長 佐々木研吾
 吉田 信夫
 荒 正勝
 土井 俊玄

顧問 大野 聖二
 立川富美代
 大高 秀夫
 濱野 幸雄
 宮崎 浩平
 矢島 一雄
 下山 邦夫
 会長 永井 昌平
 副会長 岩島 寛
 幹事 田中 信昭

事務局 長 吉田 信夫(兼)
 同 次 長 澤渡 進
 武田洋一郎
 田中 信昭(兼)

区分	責任者	業 務 区 分	部門長
事業支援部門	吉田 信夫 荒 正勝	渉外・庶務	塩澤 勉夫
		総務(当年度幹事)	田中 信昭
		予算・決算	澤渡 進
		会計	高取 和郎
		監査	増田 由明 飯田富美子
事業部門	杉山 友一 土井 俊玄	海上自衛隊音楽隊公演観賞会	立川富美代
		記念式典	馬場 征彦
		レセプション	立川富美代 田中 信昭
	下山 邦夫	「輝く宇宙八王子展」の開催	内山 雅之
広報部門	佐々木研吾	広報活動(交流担当)	浅川 文夫 山崎 修司
		記念誌の発行	佐々木 正
		クラブ広報資料の改定	八木 啓充
		20 周年事業記録	土井 俊雄

東京八王子プロバスケットボールクラブ創立20周年記念誌

平成 27 年 12 月 1 日発行

発行者 東京八王子プロバスケットボールクラブ
〒192-0056 東京都八王子市追分町10-15
TEL 042-626-4343 FAX 042-649-6178
<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集者 20 周年記念事業実行委員会

編集 有限会社 三共社
印刷 〒192-0041 東京都八王子市中野上町2-29-1
製本 TEL 042-625-8325 FAX 042-625-8369
<http://www.san-p.co.jp>
E-mail: post@san-p.co.jp

編集後記

記念誌の編集については、昨年末より、編集スケジュールや編集方針（内容の構成、簿冊のサイズ、おおよそのページ数ほか）等について論議を重ねるとともに、前回記念誌の編集時の気遣い事項の聴取はじめ必要な諸準備を開始し、あわせて、会員紹介欄のプロフィールとエッセイの原稿依頼を始めてから 10 月 18 日の記念事業を無事終えて、特集記事を取り急ぎ入稿したところで、長かった作業をやっと終えることができたとの感慨でいっぱいである。

その間、カラーページを増やす方向に沿って会員全員のポートレートの撮影を快くお引き受けいただいた写真同好会の下山会員、会員の親睦活動、地域奉仕活動、地域や各プロバスケットボールクラブとの交流、記念文集等掲載記事の原稿作成に多大のご尽力をいただいた会員各位に、厚く厚く御礼申し上げます。あわせて、カラーの色調整や印刷面から目一杯のご支援をいただいた三共社様に感謝を申し上げます。